

議会報告会報告書

開催日時	平成31年4月16日(火)午後7時00分～8時30分		
開催場所	松尾地区市民センター		
出席議員	植松 泰之、中村 誠、谷口 聖、深田 龍、松岡 恒雄 野呂 一男、西村 友志		
	司会進行者	西村 友志	
	報告者	松岡 恒雄	
	記録者	谷口 聖	
参加人数	12名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 中島清晴様

平成31年4月23日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第3班

代表者 植松 泰之

【第1部の主な質疑応答・意見等】

問 新年度予算における合併特例債など、基本的には市の借金ではないのかと思うが議会としてどのように考えているのか。

答 臨時財政対策債は地方交付税が抑えられた経緯の代わりとして活用されている。一見すると借金だが、一定期間を経た後に返ってくるものであり、言い換えれば、地方交付税の代わりとして有効に使える財源と捉えている。

問 財政調整基金を取り崩してまでやる必要があるのか。

答 将来世代に負担を回さないための必要な措置であると市長は述べている。また議会としても否定してはいない。そして市長は市債残高を増やさないとする公約も掲げており、必要な財政措置と理解している。

意見 財政調整基金を取り崩し、市債を増やさないという考えには矛盾を感じる、せっかく貯めた財政調整基金を使わない方法での市政を議論していただきたい。

問 地域包括ケアに関連し健康寿命について聞きたい。平均寿命は延びているが健康寿命は決して延びていない状況の中、介護してもらわない状態での長生きできる方法についてどのように考えているのか。

答 地域包括ケアについては、まだまだ市民に伝わっていない部分が沢山ある。また、市民の皆様から様々な声もいただいている中で、議会としても研究し議論を深めていきたいと考えている。

問 エンディングノートの使い方がわからない。終末期に向けてどのような最期を送りたいかを記入する等、少しさみしい気がするが、市としてはどう思っているのか。

答 市としての新規事業である。2019年5月よりエンディングノートの作成チームを編成し、7月からは各地域の包括支援センターにおいて、市民向けのエンディングノート活用方法の周知を図っていく。ノートの完成は2020年3月を予定している。地域包括ケアについても、まだまだ市民に浸透していないので、それも含め議会として努力する。

意見 138か所のサロンや75の自主グループへの市の支援に、地域格差がある。そこを何とかしてほしい。

意見 介護事業従事者の人材確保に力を入れてほしい。

意見 エンディングノートについては作って終わりではなく、今後もブラッシュアップは続けていってほしい。さらに地域の方々の関わり方も考えてほしい。

問 各地域の包括支援センターでの取り組みに格差がありすぎる。地域性があるというの

は理解しているが、できる限り地域差は小さくすべきではないか。

答 始まったばかりの事業であり、議会としても地域の声を聴き、研究を重ね、継続して協議して行く。

第2部【住みよいまちづくりについての主な質疑・意見】

問 市内の知的障がい者支援施設で働いている。松阪市にも特別支援学校があり、卒業後の就労の機会を積極的に提供したいのだが、市としては個人情報観点から障がい者の名簿は公表できないとしているため積極的支援に至らない。他市の事例とも比較して障がい者雇用の充実を図るといった観点から、改善してほしいと思うが、市としてどう考えているのか。

答 個人情報の観点から情報の開示についてはできないものと理解している。また、家族が健在なうちは家庭で保護するといった個々の考えもある中では一元化できるものではないと理解している。まずは相談支援員との話し合いの中で、本人と家族の意向が優先されるものであると考え。他市の事例についても調査、研究をしていきたい。

意見 住みよい環境づくりとして、認知症の方が一人歩きできるような環境を作っていくべきであると思う。

問 高齢者の独居の方の庭の除草やごみの片づけの支援をしているが、他人のゴミだという理由から、処分場で処理してもらえない。高齢者支援として受け入れてほしいと、数年前から市に要望しているが認めてもらえない。どうにかならないのか。

答 ケアマネジャー等から、独居の方が亡くなった後の荷物の処理に困っているとの話は聞いている。本会議においてこのような事案についての質問をしたが、新しいシステムを作っていくとの答弁であったので、今後、どのような仕組みになっていくのか注視していく。

問 議会報告会の開催時期について、4月は農家にとって繁忙期である。別の時期の開催を検討してもらえないか。

答 委員会で検討を進めてきた。引き続き検討したい。

問 自治会からの要望事項について、予算の都合上、たくさん出してもらっても出来ないなどの返答がくるが、議員としてはどのように考えているのか。

答 自治会からの要望事項については、市の予算上、子供のための安全対策や、地域の防災・減災が優先されるものだと理解している。また、自治会連合会や住民協議会の中で協議し、優先順位を決めて要望していくことも大切なことだと認識している。

意見 要望書に対して、予算が無いから出来ないではなく、できない理由をはっきり回答してほしい。